

埼玉県郡市医師会・在宅医療連携拠点（2025.8.28）

埼玉県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業 説明会

埼玉医科大学国際医療センター

1 全体目標

- ① 2040年までに3年以上の健康寿命の延伸
- ② 循環器病の年齢調整死亡率の減少

2 個別施策

- ① 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発
- ② 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実
 - a. 予防検診の普及・推進
 - b. 救急搬送体制の整備・医療提供体制の構築
 - c. リハビリテーション等への取組
 - d. 後遺症支援
 - e. 緩和ケア
 - f. 両立支援・就労支援
 - g. 小児期・若年期対策
 - h. 情報提供・相談支援
- ③ 循環器病の研究推進

1 活動目的

循環器病対策推進基本計画では、脳卒中・心臓病等（循環器病）患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携して、総合的な取組を実施することとなっている。

この取り組みを効果的に推進するため、脳卒中・心臓病等総合支援センターを設置し、都道府県と連携し、地域の医療機関と勉強会や支援方法などの情報提供を行うなど協力体制を強化し、包括的な支援体制を構築することにより、地域全体の患者支援体制の充実を図る。

2 事業の概要

都道府県の循環器病対策推進計画等を踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の事業を行う。

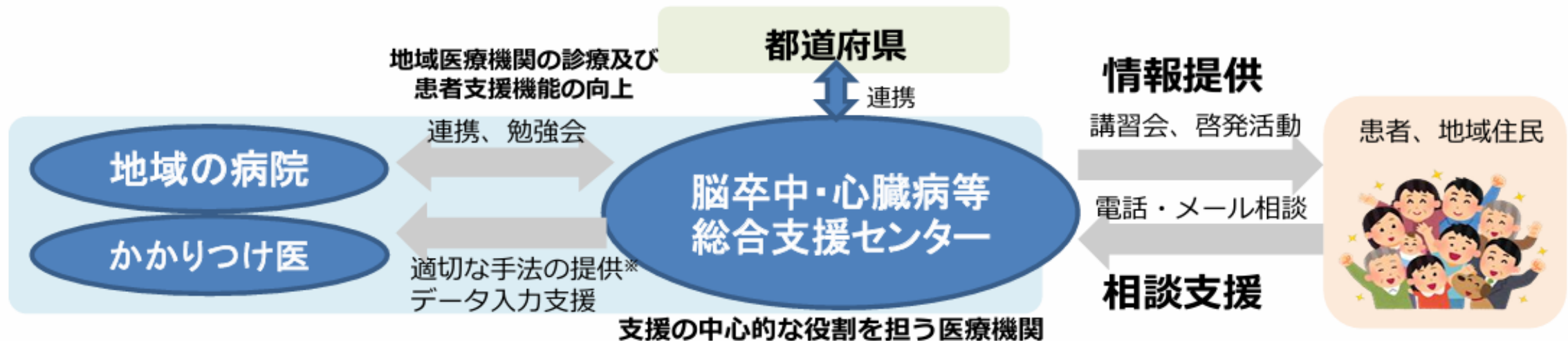
- ① 【相談窓口】 循環器病患者・家族の相談窓口の設置
- ② 【普及啓発】 地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
- ③ 【人材育成】 【地域連携】 地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会の開催
- ④ 相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
- ⑤ その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの

3 脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討

＜役割＞ 循環器病に関する**情報提供**及び**相談支援**の、地域における核となり中心的な役割を担う



4 埼玉県の実況

埼玉県では、救急体制の整備や県民への啓発活動のほか、様々な循環器病対策を行っている。

令和5年度に埼玉医科大学国際医療センターが「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」に採択されたことにより、県と埼玉医科大学国際医療センターの協働により、更なる循環器病対策が推進されている。

1 周知活動と相談支援の強化

これまでに得られた知見をもとに、「脳卒中・心臓病等総合支援センター事業（以下、本事業）」の全県的な展開に向けて、更なる広報や体制の強化を図っていく必要がある。

しかしながら、患者や関係者の相談支援については、国際医療センターの独自事業として実施されており、広報や体制強化が難しい状況。

地域医療機関等を通じた本事業の周知活動、医療機関関係者等への相談支援の強化は、開業医や訪問看護ステーション等、地域の医療関係者との連携を深めることにつながり、循環器疾患患者の再発予防・重症化予防に大きく寄与する。

特に本事業の活動目的と具体的な医療機関・介護施設連携における本事業の重要性などを郡市医師会単位で情報発信して行きたい。

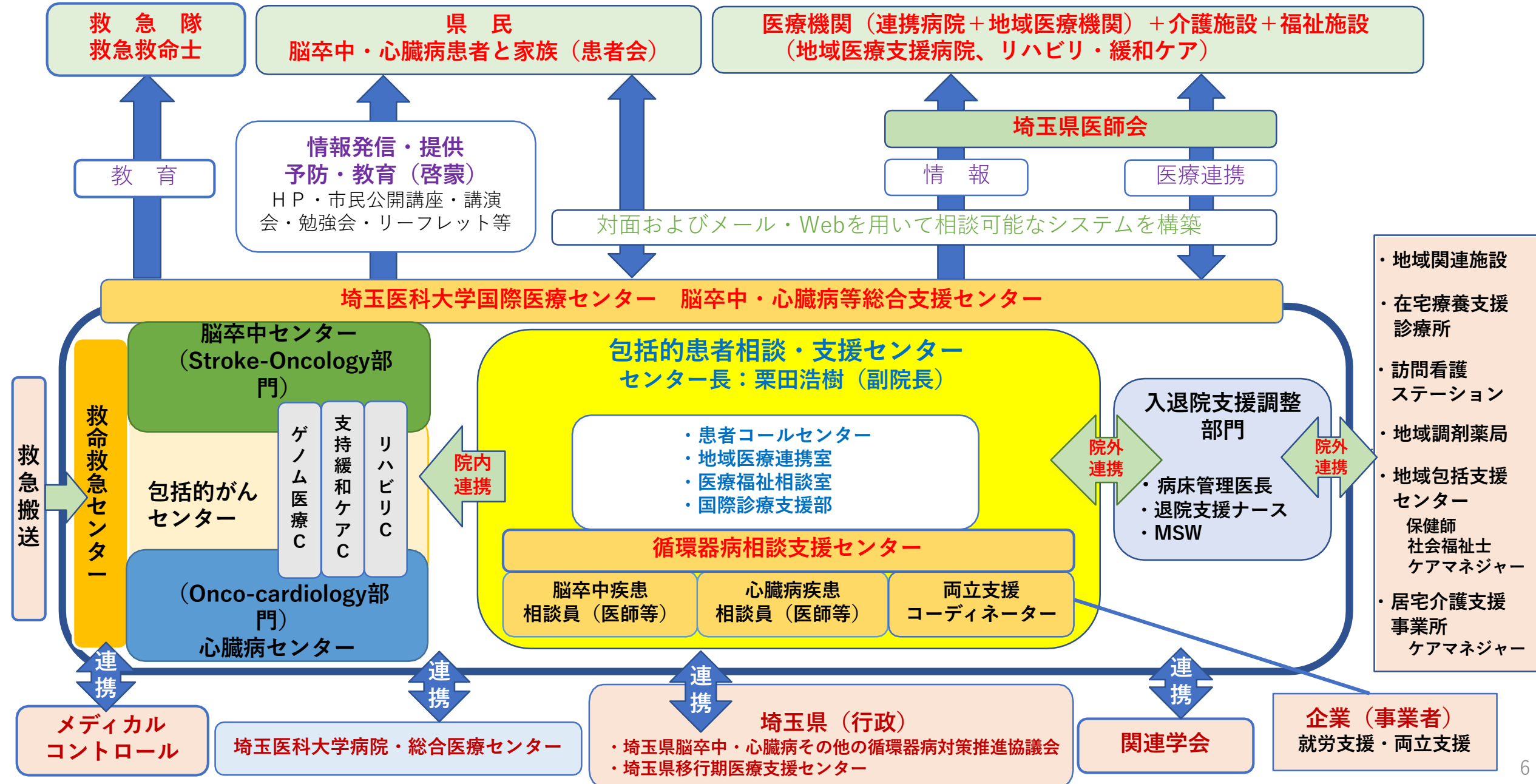
2 埼玉県医師会からの助言

本事業の活動内容を周知するには、各郡市医師会の各会員まで本事業の情報が伝わっていることが重要。また、在宅医療連携拠点が各郡市医師会に設置されており、同時に本事業の情報を伝えるべき。

それでは、これまでの活動内容をご説明致します。

令和6年度脳卒中・心臓病等総合支援センター事業 実績報告

埼玉医科大学国際医療センター脳卒中・心臓病等総合支援センター概要



埼玉医科大学国際医療センター脳卒中・心臓病等総合支援センター概要

基本コンセプト: **支援戦略の統合化**によるシームレスな支援

包括的患者相談・支援センター

(責任者: 栗田浩樹、副院長・脳卒中センター長)

患者コールセンター (センター長: 真下由美教授)
地域医療連携室 (室長: 真下由美教授)
医療福祉相談室 (室長: 武久部長代行)
国際診療支援部 (部長: 松浦一生教授)

連携・協働

がん相談支援センター

(責任者: 大西秀樹教授)

緩和ケアチーム

支持医療科医師
看護師
管理栄養士
社会福祉士

Stroke oncology
Onco-cardiology

循環器病相談支援センター

(責任者: 鈴木孝明 副院長・小児心臓外科教授)

脳卒中相談窓口

(室長: 武・脳卒中外科講師)

医師1名、看護師8名、事務1名
薬剤師2名、リハビリ療法士3名
社会福祉士1名
(脳卒中療養相談士6名)

心臓病相談窓口

(室長: 森・心臓内科講師)

医師1名、看護師10名、事務1名
薬剤師2名、リハビリ療法士1名
管理栄養士1名、社会福祉士1名
(心不全療養指導士3名)
(人工心臓管理技術認定士3名)

Declaration of BD
Recipient support

移植相談支援センター

(責任者: 根本学教授)

移植ケアチーム

各診療科医師
移植コ-ディネーター
看護師
社会福祉士

連携・協働

就労・両立支援

両立支援コーディネーター (SW)

所沢ハローワーク (就労支援ナビゲーター)

埼玉産業保健総合支援センター (両立支援促進員)

企業

(産業医・事務担当者)

小児心臓科・小児心臓外科
成人・移行期先天性心疾患センター

先天性疾患支援
小児期・若年期・
移行期医療支援

・小児病院 (埼玉県立小児医療センター、他)
・埼玉県移行期医療支援センター

県民・患者・家族

相談

支援

院外
連携

入退院支援調整部門

支援のために総合支援センターに配置している職種及び人員

職種	専従	専任	専従	専任
医師	人	6 人	人	人
看護師	人	21 人	人	人
保健師	人	0 人	人	人
社会福祉士	人	2 人	人	人
精神保健福祉士	人	0 人	人	人
薬剤師	人	3 人	人	人
リハビリ専門職（PT・OT・ST）	人	4 人	人	人
管理栄養士	人	3 人	人	人
臨床心理士（公認心理士）	人	0 人	人	人
救急救命士	人	2 人	人	人
事務職	人	5 人	人	人
総計	人	46 人	人	人

※専従は他業務との兼務は原則不可、専任は他業務との兼任が可能

1. 患者・家族からの相談支援窓口

【相談窓口】 国際医療センターに通院していない県民も含め、患者・家族、医療機関等からの相談に広く対応

2. 総合支援センター独自で展開する各種講演会・勉強会・研修会

- (ア) 【普及啓発】 地域住民を対象とした情報提供・普及啓発
- (イ) 【人材育成・地域連携】 医療職、救急隊向け勉強会研修会
- (ウ) 【人材育成・地域連携】 地域との情報交換等

3. 埼玉県から委託事業として計画したイベント

- (ア) 【普及啓発】 県民向け公開講座
- (イ) 【人材育成・地域連携】 北部・秩父地域の地域医療連携勉強会
- (ウ) 【人材育成・地域連携】 介護職向け勉強会

4. その他の活動

- (ア) 【普及啓発】 教育動画の制作
- (イ) 【普及啓発】 毛呂山町 健幸ウォーキング
- (ウ) 【地域連携】 連携病院紹介ビデオの制作
- (エ) 【地域連携】 脳卒中地域連携パス（電子化）
- (オ) 【地域連携】 両立支援調査2024（脳卒中）

1. 患者・家族からの相談支援窓口

脳卒中・心臓病等総合支援センター 相談対応実績：①患者コールセンター

相談受付部署	相談内訳		心臓病センター	脳卒中センター	合計	前年比
患者コールセンター (看護師)	(自施設)	新規	0	0	0	+390
		継続	1,515	367	1,882	
		合計	1,515	367	1,882	
	(相談内容)	疾病情報の提供（予防、診断、治療等）	-	-	1,028	
		その他（下記）	-	-	954	
		合計	-	-	1,982	

●自施設の患者からの問い合わせ窓口

●問い合わせ内容【その他】：感染・発熱・疼痛・出血・発疹・食欲不振など体調変化・検査・紹介状・処方箋など

●複数相談あり、相談受付件数と相談内容件数は不一致

1. 患者・家族からの相談支援窓口

脳卒中・心臓病等総合支援センター 相談対応実績：②医療福祉相談室

相談受付部署	相談内訳		心臓病センター	脳卒中センター	合計	前年比
医療福祉相談室 (医療ソーシャルワーカー)	(自施設)	新規	123	78	201	▲ 65
		継続	44	60	104	
		小計	167	138	305	
	(他施設)	新規	8	15	23	▲ 20
		継続	0	0	0	
		小計	8	15	23	
	(自施設・他施設合計)	新規	131	93	224	▲ 85
		継続	44	60	104	
		合計	175	153	328	
	(相談内容)	医療費、生活費、社会保障制度	155	227	382	
		就労・両立支援、学校生活等	18	8	26	
		在宅医療	12	13	25	
		その他	171	255	426	
		合計	356	503	859	

- 他施設からの問い合わせ者：主に当院に受診歴があり、現在は他施設に受診中または受診医療機関が無い方
- 他施設からの問い合わせ内容：受診中の病院で不足する社会保障制度（身障者指定医がいらない）、就労・両立支援、病院を変わりたい、セカンドオピニオン1件など
- 複数相談あり、相談受付件数と相談内容件数は不一致

1. 患者・家族からの相談支援窓口

脳卒中・心臓病等総合支援センター 相談対応実績：③多職種相談窓口

相談受付部署	相談内訳		心臓病センター	脳卒中センター	合計	前年比
多職種相談窓口 （看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリなど）	（自施設）	新規	4	6	10	+8
		継続	0	0	0	
		小計	4	6	10	
	（他施設）	新規	14	32	46	+11
		継続	0	0	0	
		小計	14	32	46	
	（自施設・他施設合計）	新規	18	38		+19
		継続	0	0		
		合計	18	38	56	
	（内、WEB）		12	18	30	+17
※参考（自施設での支援実績：テンプレート記載件数）			38,950	21,762	60,712	+13,488

- 後程ご紹介
- 他施設からの問い合わせ者：当院受診歴がない方からの問い合わせがほとんど
 - 心臓病・脳卒中ともに、病状、治療、リハビリ、薬、食事について意見を求める相談が多い
 - 脳卒中では、車の運転について意見を求める相談も多い
 - 血圧、心拍数、不整脈といった問い合わせは、かかりつけ医や近隣のクリニックを受診するよう勧めている
 - 転院についての問い合わせには「回復期リハビリ病院を教えて欲しい」が6件あった
 - セカンドオピニオンの情報提供も2件あった（福祉相談室 別途1件）
 - 他施設からの問い合わせ件数は合計46件（前年35件）
 - 内1件「愛知県のNPO（脳卒中障害者の生きがい作りの団体）」より「患者会」についてあり
 - 内1件「神奈川県横須賀市内の病院、退院支援室」より「転院先照会」あり
 - 内2件「近隣施設の訪問看護師」より「病状」について質問あり
 - ※自施設でのテンプレート記載内容：主に疾病管理、心理サポート、教育動画視聴、療養・退院支援、家族支援など

1. 患者・家族からの相談支援窓口

脳卒中・心臓病等総合支援センター 相談対応実績：④合計

相談受付部署	相談内訳	心臓病センター	脳卒中センター	合計	前年比
患者コールセンター (看護師)	(自施設)	1,515	367	1,882	
	(他施設)	0	0	0	± 0
	小計	1,515	367	1,882	+390
医療福祉相談室 (医療ソーシャルワーカー)	(自施設)	167	138	305	
	(他施設)	8	15	23	▲ 20
	小計	175	153	328	▲ 85
多職種相談窓口 (看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリなど)	(自施設)	4	6	10	
	(他施設)	14	32	46	+11
	小計	18	38	56	+19
総計	(自施設)	1,686	511	2,197	
	(他施設)	22	47	69	▲ 9
	合計	1,708	558	2,266	+324
※参考（自施設での支援実績：テンプレート記載件数）		38,950	21,762	60,712	+13,488

- 2024年度（令和6年度）の「脳卒中・心臓病等相談窓口」での相談件数は、2,266件（前年比+324件）
（別途、当院に通院・入院中の患者・患者家族への様々な情報提供・相談支援・教育動画利用の働きかけ、60,712件）
- 他施設からの問い合わせ総件数（医療福祉相談室+多職種相談窓口）は合計69件（前年78件）
（但し、当院受診歴が無い方からの相談（多職種相談窓口）は、前年比+11件増えている）
- 脳卒中・心臓病相談窓口はWEB相談を中心に医療従事者へも開放、引き続き相談窓口開設の更なる周知徹底が必要

1. 患者・家族からの相談支援窓口
【相談窓口】 国際医療センターに通院していない県民も含め、患者・家族、医療機関等からの相談に広く対応
2. 総合支援センター独自で展開する各種講演会・勉強会・研修会
(ア) 【普及啓発】 地域住民を対象とした情報提供・普及啓発
(イ) 【人材育成・地域連携】 医療職、救急隊向け勉強会研修会
(ウ) 【人材育成・地域連携】 地域との情報交換等
3. 埼玉県から委託事業として計画したイベント
(ア) 【普及啓発】 県民向け公開講座
(イ) 【人材育成・地域連携】 北部・秩父地域の地域医療連携勉強会
(ウ) 【人材育成・地域連携】 介護職向け勉強会
4. その他の活動
(ア) 【普及啓発】 教育動画の制作
(イ) 【普及啓発】 毛呂山町 健幸ウォーキング
(ウ) 【地域連携】 連携病院紹介ビデオの制作
(エ) 【地域連携】 脳卒中地域連携パス（電子化）
(オ) 【地域連携】 両立支援調査2024（脳卒中）

2. 総合支援センター独自で展開する各種講演会・勉強会・研修会

(ア) 【普及啓発】地域住民を対象とした情報提供・普及啓発 (ハイブリッド開催)

① 市民公開講座

LIVE
対面聴講

脳卒中・心臓病等総合支援センター事業
第33回 埼玉医科大学国際医療センター
市民公開講座

「最新の小児循環器医療 ～胎児期から壮年期までの切れ目ないサポートを目指して～」

日時: **2025年3月15日(土)**
13:30～16:00 (開場12:00、閉場16:30)
場所: 埼玉医科大学創立30周年記念講堂ホール
(日高キャンパス) 埼玉県日高市山根 1397-1
ご来場による対面聴講および YouTube による LIVE 配信

開会 13:30
開会の挨拶 および 座長 副院長・心臓病センター長 鈴木 孝明

講演 13:35～16:00

「こどもの心臓病って？」 小児心臓外科 講師 平野 曉敦
「こどもの心臓手術とフォンタン循環」 小児心臓外科 教授 帆足 孝也
「こどもの心臓カテーテル ～何がわかる？何が出来る？～」 小児心臓科 准教授 小島 拓朗

休憩(15分)

「心臓病のこどもが入院している生活環境ってどんなところ？」 小児病棟 病室看護師長 高山 志乃
「埼玉でこどもの心臓移植？」 小児心臓科 助教 戸田 結一
「大人の階段のぼる皆さんへ ～移行期医療と成人期の先天性心疾患～」 心臓内科 助教 長谷川 早紀

閉会 16:00
閉会の挨拶 小児心臓外科 教授 帆足 孝也

11月30日(土)

脳の病気

会場 379名+WEB 171名 = 合計 550名

2025年3月15日(土)

最新の小児循環器医療

会場 94名+WEB 101名 = 合計 195名

市民・県民向け公開講座 QR コード
(国際医療センター公式チャンネル)



【参考】

5月25日(土)

大腸がん 合計 376名

8月24日(土)

「がん」と心臓・脳卒中・救急 合計 369名

※アーカイブ動画あり (YouTubeに一般公開中)

(国際医療センターHPからもご覧いただけます)

https://www.international.saitama-med.ac.jp/public_lecture/

2. 総合支援センター独自で展開する各種講演会・勉強会・研修会

(イ) 【人材育成・地域連携】医療職、救急隊向け勉強会研修会

① 地域医療連携懇話会（地域の医師・看護師・医療職・介護職他向け）（WEB開催）

第97回 埼玉医科大学国際医療センター
地域医療連携懇話会
日時：2025年3月10日（月） 19:00～20:10
場所：埼玉医科大学国際医療センター 教育研究棟 2 階 大講堂よりハイブリッド開催
〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1 TEL：042-984-4433（地域医療連携室）

【総合司会】 地域医療連携室室長 眞下 由美 先生
【開会の辞】 病院長 佐伯 俊昭 先生

【座長】 心臓病センター長 鈴木 孝明 先生

講演 1 19:05～19:40
『重症心不全における薬物治療 ～エンレストへの期待～』
埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科 教授 中埜 信太郎 先生

講演 2 19:40～20:10
小児～成人までカバーする経断的かつ横断的重症心不全診療：
包括的管理・評価、内科的治療、機械的補助、人工心臓から移植手術まで
『Destination Therapyにより変わる心不全治療』 心臓内科 講師 野本 美智留 先生
『補助人工心臓治療と心臓移植の現状および適応』 心臓血管外科 准教授 木下 修 先生
『補助人工心臓を橋渡しとした、小児の重症心不全治療』
小児心臓外科 教授 帆足 孝也 先生
『重症心不全患者への移植コーディネーターの関わり』
重症心不全・心臓移植センター 土屋 美代子 先生

【閉会の辞】 心臓病センター長 鈴木 孝明 先生

URL：https://otsuka-jp.zoom.us/webinar/register/WN_vS-EsuHfSMOxk3YzHIKDcg
会場参加・WEB参加共に、セミナー視聴をご希望の際はURL又は右記の二次元コードを読み取りいただき、事前申し込みをお願い致します。
登録締め切り日：2025年3月9日（日）
本講演会は、ご参加登録をいただいた医療関係者の皆様へ限り、ご視聴いただく事が可能です。
本講演会で投影される情報（文字、写真、図、イラストなど）の無断での複製、転載、改変その他の二次利用はお断えください。
共催：埼玉医科大学国際医療センター 地域医療連携室 / 大塚製薬（株）ノバルティスファーマ（株）

2025年3月10日(月)
重症心不全

【参考】
5月29日(水)
診療報酬改定で求められる地域連携強化
7月31日(水)
がんサバイバーシップケア

2. 総合支援センター独自で展開する各種講演会・勉強会・研修会

(イ) 【人材育成・地域連携】医療職、救急隊向け勉強会研修会

② かわせみカンファレンス（地域の看護師・医療職・介護職他向け）（ハイブリッド開催）

埼玉医科大学国際医療センター
2024年度第3回かわせみ教育カンファレンス

※かわせみ教育カンファとは、埼玉県西部地域の医療施設における看護師－看護師の携を深めるために当院で主催しているカンファレンスです。

何でも相談してください！
わが町にあります！！

心臓・脳卒中の
相談窓口

日時：2025年1月10日（金）18:00～19:30

会場：埼玉医科大学国際医療センター
教育研究棟2階 大講堂 & Web開催（ハイブリッド形式）

講師：森 仁（当院 心臓内科講師）
内田 裕美（当院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）
大島 萌（当院 薬剤師）

申し込み締め切り：1月6日（月）
申し込み URL：<https://ssl.formman.com/form/pc/Xa1xkZH4UbuEJwGp/>

【問い合わせ先】
埼玉医科大学国際医療センター 教育支援センター
kyoikuc@saitama-med.ac.jp

申し込み
QRコード



2025年1月10日（金）

心臓・脳卒中の相談窓口

【参考】

6月14日（金）

摂食・嚥下障害看護と認知症看護

10月11日（金）

がん化学療法における有害事象

2025年2月28日（金）

急性期からのバトンを地域へつなぐ

2. 総合支援センター独自で展開する各種講演会・勉強会・研修会

(イ) 【人材育成・地域連携】医療職、救急隊向け勉強会研修会

③ 飯能地区薬剤師会勉強会（地域の薬剤師他向け）（WEB開催）

ONO PHARMACEUTICAL CO., LTD. AstraZeneca

第44回 日高・飯能地区
病診連携薬剤師会勉強会

日時 2024年11月8日(金) 19:00～20:50
配信形式 Zoom オンライン配信

研修会認定単位：G01 日本薬剤師研修センター
※詳細は裏面をご確認ください。

● 開会のご挨拶 19:00～19:10 埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部部長 牧野 好倫 先生

● 一般演題 19:10～19:50
【座長】アボック日高センター前薬局2号店 管理薬剤師 松本 剛 先生

● 講演① 19:10～19:30
地域で支える慢性心不全患者の現状と課題
【演者】ふれあい薬局飯能店 新井 智春 先生

● 講演② 19:30～19:50
当院における脳卒中・心臓病等総合支援センターでの取り組みについて
【演者】埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 大島 萌 先生

● 特別演題 19:50～20:40
【座長】埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部部長 牧野 好倫 先生

慢性心不全治療の最前線
薬剤師の先生方へ ～患者さんからの質問にはこう答える～
【演者】埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科 教授 中埜 信太郎 先生

● 閉会のご挨拶 20:40～20:50 ふれあい薬局飯能店 代表取締役 池田 里江子 先生

共催：埼玉県薬剤師会飯能支部／小野薬品工業株式会社／アストラゼネカ株式会社

11月8日(金)

地域で支える慢性心不全患者の現状と課題
脳卒中・心臓病等総合支援センター事業
慢性心不全治療の最前線

2. 総合支援センター独自で展開する各種講演会・勉強会・研修会

(イ) 【人材育成・地域連携】医療職、救急隊向け勉強会研修会

④ 大動脈緊急症治療ネットワーク（SAN）勉強会（地域の救急隊向け）（会場開催） （Saitama Aortic Dissection and Aortic Aneurysm Network）

令和6年5月吉日

各消防本部消防長 様

埼玉医科大学国際医療センター
病院長 佐伯 俊昭

埼玉県大動脈緊急症治療ネットワーク（SAN）の運用に係る
研修会の開催について（通知）

令和4年4月1日から運用されている「埼玉県大動脈緊急治療ネットワーク（SAN）」をより効果的に運用するため、大血管疾患の知識の向上を期待し、下記のとおり開催することとしました。

つきましては、貴下職員の参加について御配慮をいただきますようお願いいたします。

記

1 目的

大動脈緊急症を疑う傷病者を救急隊が適切に観察できるよう、大血管疾患に特徴的な症状や確認すべき項目等を専門医から指導を受け、救急現場活動をより迅速、円滑に適切な医療機関を選定する。

2 対象

県内全消防本部の救急医療に関わる職員

6月19日(水)

10月1日(火)

「埼玉県大動脈緊急治療ネットワーク（SAN）」をより効果的に運用するため、大血管疾患の知識の向上を図る

2. 総合支援センター独自で展開する各種講演会・勉強会・研修会

(イ) 【人材育成・地域連携】医療職、救急隊向け勉強会研修会

⑤ 脳卒中病院前救護セミナー（PSLS）（地域の救急隊・医療職・介護職他向け） (Prehospital Stroke Life Support)

令和7年1月吉日

各消防本部消防長 様

埼玉県保健医療部医療整備課長

〇〇 〇〇

埼玉県危機管理防災部消防課長

〇〇 〇〇

埼玉県急性期脳卒中治療ネットワーク（SSN）の運用に係る
病院前脳卒中セミナーPSLS の開催について（通知）

本県の救急医療体制の整備につきましては、日頃格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「埼玉県急性期脳卒中治療ネットワーク（SSN）」も軌道に乗り効果的に運用しているところでございます。この度新しい脳梗塞を疑う必要のある傷病者の観察方法が改訂となり、新改訂コース下記のとおり開催することとしました。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、貴下職員のご参加について御配慮くださるようお願い申し上げます。

記

1 目 的

脳梗塞を疑う必要のある傷病者を救急隊が適切に観察できるよう、脳梗塞に特徴的な症状や確認すべき項目等を専門医から指導を受け、病院前救護活動をより迅速、円滑に行えるようにする。また、勉強会で得た知識や技法を他の救急隊員に広め、各消防本部の救急活動の質的向上を図る。

2 対象消防本部

全消防本部 受講を希望する救急医療に関わる職員

6月18日(火)

(会場開催)

9月17日(火)

12月17日(火)

2025年3月18日(火)

脳梗塞を疑う必要のある傷病者を救急隊が適切に観察できるよう、脳梗塞に特徴的な症状や確認すべき項目等を専門医から指導を受け、病院前救護活動をより迅速、円滑に行えるようにする

地域の看護師や介護職へも推奨する

2. 総合支援センター独自で展開する各種講演会・勉強会・研修会

(イ) 【人材育成・地域連携】医療職、救急隊向け勉強会研修会

⑥ 秩父地域脳卒中セミナー（**秩父地域の救急隊向け**）（出張開催）

6月13日(木)

当院に秩父消防から救急搬送された症例の検討
講演会：脳卒中の最新治療と救急対応

⑦ 学校関連の研修会（**教職員、PTA、生徒・児童向け**）（出張開催）

6月1日(土)

飯能市立精明小学校「いのちを守る学習」救命研修

6月5日(水)

令和6年度新規採用養護教諭向け救命研修

2. 総合支援センター独自で展開する各種講演会・勉強会・研修会

(ウ) 【人材育成・地域連携】 地域との情報交換

① 埼玉県一次脳卒中センター（PSC）申請施設連携会議（PSCの医師・看護師・MSW向け）

令和6年度一次脳卒中センター（PSC）申請施設
施設長 殿
主担当診療科責任者 殿

令和6年6月19日

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭
(令和6年度脳卒中・心臓病等総合支援センター事業病院)
同 包括的患者相談・支援センター長
一般社団法人日本脳卒中学会
埼玉県脳卒中对策推進委員会 委員長 栗田 浩樹

第3回 埼玉県一次脳卒中センター（PSC）申請施設連携会議の開催について（ご案内）

拝啓 入梅の候 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、埼玉県では、健康寿命の延伸等を図るため「脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」に基づき「埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進計画」を策定し推進しております。この計画を埼玉県全域へより効果的に展開するために、今年度も埼玉県一次脳卒中センター（PSC）申請施設の皆様方と連携会議を開催し、埼玉県の脳卒中相談支援をより良い方向へ進めて行きたいと存じます。

つきましては、「第3回 埼玉県一次脳卒中センター（PSC）申請施設連携会議」を下記の通り開催いたしますので、ご多用の中恐縮ですが、ご参加をお願い申し上げます。なお、本件につきましては、埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会様、埼玉県保健医療部様にご協力をいただいておりますことを申し添えさせていただきます。

敬具

7月26日(金) (WEB開催)

- 令和5年度脳卒中・心臓病等相談支援センターモデル事業の実績報告
- 令和6年度脳卒中・心臓病等相談支援センター事業の計画説明
- 多職種連携ネットワークの構築
- 回復期リハビリ病院への連携拡大
- SCPA-Japan（日本脳卒中医療ケア連合）埼玉支部の立ち上げ

2. 総合支援センター独自で展開する各種講演会・勉強会・研修会

(ウ) 【人材育成・地域連携】 地域との情報交換

② 脳卒中相談窓口連携会議（PSCの医師・看護師・MSW、回復期リハ病院、SCPA向け）

令和6年度一次脳卒中センター（PSC）施設

主担当診療科責任者 様

医療ソーシャルワーカー（MSW）様

回復期リハビリテーション病棟保有施設

医療ソーシャルワーカー（MSW）様

看護師 様

日本脳卒中医療ケア従事者連合 埼玉支部の皆様

関係者各位

平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業事務局です。

先般、皆様方へご協力をお願いしました脳卒中患者さんの「両立支援調査2024」につきまして、下記の通り説明会を開催させていただきます。

お忙しい中誠に恐縮ですが、ご参加をお願い申し上げます。

また、これまで開催しておりましたPSC連携会議、MSW連携会議は、今回より「脳卒中相談窓口連携会議」として発展統合して参ります。

1 日 時 令和6年9月26日（木） 午後3時00分から午後4時00分まで

2 開催形式 オンライン（ZOOM）開催

3 テーマ 「両立支援調査2024」の実施について

9月26日(木)

(会場開催)

- ・ 「両立支援調査2024」の実施について
- ・ 多職種連携ネットワークの構築
- ・ 回復期リハビリ病院への連携拡大
- ・ SCPA-Japan（日本脳卒中医療ケア連合）
埼玉支部への連携拡大

1. 患者・家族からの相談支援窓口
【相談窓口】 国際医療センターに通院していない県民も含め、患者・家族、医療機関等からの相談に広く対応
2. 総合支援センター独自で展開する各種講演会・勉強会・研修会
 - (ア) 【普及啓発】 地域住民を対象とした情報提供・普及啓発
 - (イ) 【人材育成・地域連携】 医療職、救急隊向け勉強会研修会
 - (ウ) 【人材育成・地域連携】 地域との情報交換等
3. 埼玉県から委託事業として計画したイベント
 - (ア) 【普及啓発】 県民向け公開講座
 - (イ) 【人材育成・地域連携】 北部・秩父地域の地域医療連携勉強会
 - (ウ) 【人材育成・地域連携】 介護職向け勉強会
4. その他の活動
 - (ア) 【普及啓発】 教育動画の制作
 - (イ) 【普及啓発】 毛呂山町 健幸ウォーキング
 - (ウ) 【地域連携】 連携病院紹介ビデオの制作
 - (エ) 【地域連携】 脳卒中地域連携パス（電子化）
 - (オ) 【地域連携】 両立支援調査2024（脳卒中）

3. 埼玉県から委託事業として計画したイベント

(ア) 【普及啓発】県民向け公開講座 県民を対象とした情報提供・普及啓発

県民向け公開講座

令和6年度埼玉県循環器病対策事業

彩の国
埼玉県

～始めよう一次予防～

脳卒中・心臓病にかからないための

7つの秘訣

参加
無料

先着申込順
140名

日時

令和7年
1月18日(土)
13:00～15:45

場所

坂戸市文化施設オルモ オルモホール
(オルモホール)
埼玉県坂戸市戸山町1-2 東武東上線
「北坂戸駅」徒歩1分
※ 公共交通機関でお越しください

対象

埼玉県民、県内在住のどなたでも

申込

Webの場合
こちらへ

FAXの場合
こちらへ

042-984-0432
メールアドレス、氏名、人数、電話番号(日中連絡がつくもの)
年代、性別、居住地(県内・県外)を記載の上、送信してください

講演会

座長 鈴木 孝明 先生
(埼玉医科大学国際医療センター副院長/
心臓病センター長/小児心臓外科 教授)

① 脳卒中の予防と治療 寺西 亮雄 先生
(埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 講師)

② 身近に潜む心臓病 荒井 隆秀 先生
(埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科 教授)

③ 理学療法士(リハビリ)より 木村 拓誠 氏
(埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション課)

④ 薬剤師より 松本 浩宣 氏
(埼玉医科大学国際医療センター 薬学部)

⑤ 管理栄養士より 新井 沙央里 氏
(埼玉医科大学国際医療センター 栄養部)

⑥ 地域で訪ね！地域で支える！
脳卒中・心臓病 荒澤 信之 先生
(医療法人あみず会 杏クリニック理事長)

県民の
皆様への
メッセージ

③ 理学療法士(リハビリ)より 木村 拓誠 氏
(埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション課)

④ 薬剤師より 松本 浩宣 氏
(埼玉医科大学国際医療センター 薬学部)

⑤ 管理栄養士より 新井 沙央里 氏
(埼玉医科大学国際医療センター 栄養部)

基調講演

⑥ 地域で訪ね！地域で支える！
脳卒中・心臓病 荒澤 信之 先生
(医療法人あみず会 杏クリニック理事長)

問合せ:埼玉県疾病対策課 ☎048-830-3598(平日8:30～17:15)

埼玉県医科大学国際医療センター公開講座事務局 ☎042-978-7137

共 催:埼玉県/埼玉医科大学国際医療センター

後 援:一般社団法人 埼玉県医師会/公益社団法人 日本脳卒中協会埼玉県支部

埼玉県 循環器病 公開講座 検索

2025年1月18日(土) (会場開催)

～始めよう一次予防～
「脳卒中・心臓病にかからないための
7つの秘訣」

市民・県民向け公開講座 QR コード
(国際医療センター公式チャンネル)

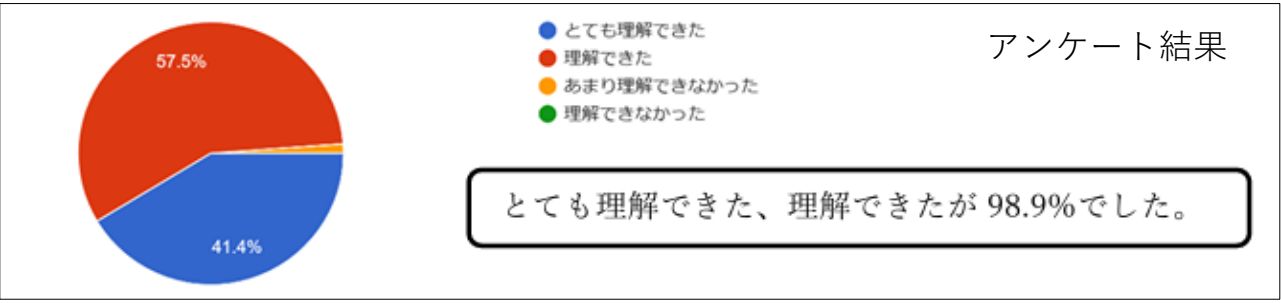


場所：坂戸市文化施設オルモ オルモホール

対象者：県民、県内在住のどなたでも

参加者総数：122名

※アーカイブ動画あり (YouTube一般公開中)



3. 埼玉県から委託事業として計画したイベント

(イ) 【人材育成・地域連携】北部・秩父地域の地域医療勉強会（地域の看護師・医療職他向け）

令和6年度埼玉県循環器病対策推進事業
脳卒中・心疾患等循環器病地域連携
北部・秩父地域の医療機関との勉強会

埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっちゃん」

『脳卒中看護に強くなる！』

看護師を中心とした医療従事者の質向上による
医療の質の均てん化と医療機関同士の連携を推進します。

日 時：2025年2月26日（水）
18:00～19:00

開催方法：WEB開催

司 会：栗田 浩樹
（埼玉医科大学国際医療センター 副院長 脳卒中センター長 脳卒中外科 教授）

参加無料

【講 演】

①脳卒中の最新治療
武 裕士郎（埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 講師）

②脳卒中看護に強くなるためのポイント

1) 受入れ～超急性期
吉野 暁子（埼玉医科大学国際医療センター クリティカルケア認定看護師）

2) 亜急性期～慢性期
内田 裕美（埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）

申し込み締め切り：2025年2月22日（土）

申し込みURL：<https://forms.gle/fuahDK5AwasM3AdR9>

問合せ：埼玉県保健医療部疾病対策課 048-830-3598（平日8:30～17:15）
埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業事務局 042-984-4128（平日8:30～17:15）

共 催：埼玉県／埼玉医科大学国際医療センター

2025年2月26日(水) (WEB開催)

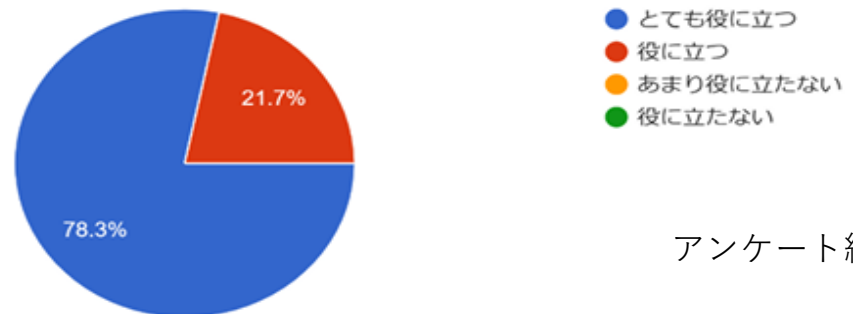
「脳卒中看護に強くなる！」

方法：WEB開催

対象者：北部・秩父地域の看護師他

参加者総数：52名

「脳卒中看護に強くなるためのポイント（受入れ～超急性期）」の講義はいかがでしたか？
23件の回答



アンケート結果

3. 埼玉県から委託事業として計画したイベント

(ウ) 【人材育成・地域連携】介護職向け勉強会（地域の介護職向け）



令和6年度埼玉県循環器病対策推進事業

脳卒中・心疾患等循環器病地域連携
介護職向け勉強会

埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

彩の国
埼玉県

『循環器疾患に関する基礎知識』

～医療職から介護職へのメッセージ～

普段から患者の身近でかかわる介護職の皆さんと、循環器疾患の基礎知識として、いつもと違う変化や体調不良に気づき受診を促す知識を共有します。

日 時：2025年3月18日（火）
16：00～17：00

開催方法：WEB開催

司 会：田口 裕彦（埼玉医科大学国際医療センター 看護師長）
金井 利沙（埼玉医科大学国際医療センター 看護師）

参加
無料

【講 演】

①様子を見てはいけない脳卒中のサイン 自信をもって119番！
穂谷 奈緒（埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）

②心疾患の兆候ガイド ～備えあれば憂いなし～
寺嶋 義貴（埼玉医科大学国際医療センター 橋込み型心臓デバイス認定士、心不全療養指導士）

申し込み締め切り：2025年3月15日（土）

申し込みURL：<https://forms.gle/ydrN6MGHA6jT2BJv6>

問合せ：埼玉県保健医療部疾病対策課 ☎048-830-3598（平日8:30～17:15）
埼玉医科大学国際医療センター
脳卒中・心臓病等総合支援センター事業事務局 ☎042-984-4128（平日8:30～17:15）

共 催：埼玉県／埼玉医科大学国際医療センター



申し込みQRコード

2025年3月18日(火)

(WEB開催)

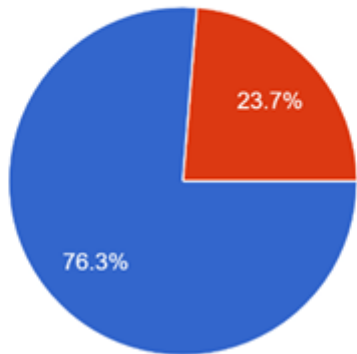
『循環器疾患に関する基礎知識』
～医療職から介護職へのメッセージ～

方法：WEB開催

対象者：埼玉県全域の介護職

参加者総数：188名

「様子を見てはいけない脳卒中のサイン 自信をもって119番！」の講義はいかがでしたか？
97件の回答



- とても役に立つ
- 役に立つ
- あまり役に立たない
- 役に立たない

アンケート結果

1. 患者・家族からの相談支援窓口
【相談窓口】 国際医療センターに通院していない県民も含め、患者・家族、医療機関等からの相談に広く対応
2. 総合支援センター独自で展開する各種講演会・勉強会・研修会
 - (ア) 【普及啓発】 地域住民を対象とした情報提供・普及啓発
 - (イ) 【人材育成・地域連携】 医療職、救急隊向け勉強会研修会
 - (ウ) 【人材育成・地域連携】 地域との情報交換等
3. 埼玉県から委託事業として計画したイベント
 - (ア) 【普及啓発】 県民向け公開講座
 - (イ) 【人材育成・地域連携】 北部・秩父地域の地域医療連携勉強会
 - (ウ) 【人材育成・地域連携】 介護職向け勉強会
4. その他の活動
 - (ア) 【普及啓発】 教育動画の制作
 - (イ) 【普及啓発】 毛呂山町 健幸ウォーキング
 - (ウ) 【地域連携】 連携病院紹介ビデオの制作
 - (エ) 【地域連携】 脳卒中地域連携パス（電子化）
 - (オ) 【地域連携】 両立支援調査2024（脳卒中）

4. その他の活動

(ア) 【普及啓発】 教育動画の制作



【YouTubeへ一般公開中】

この動画は、埼玉県、一般社団法人埼玉県医師会のご協力のもとに制作しました。

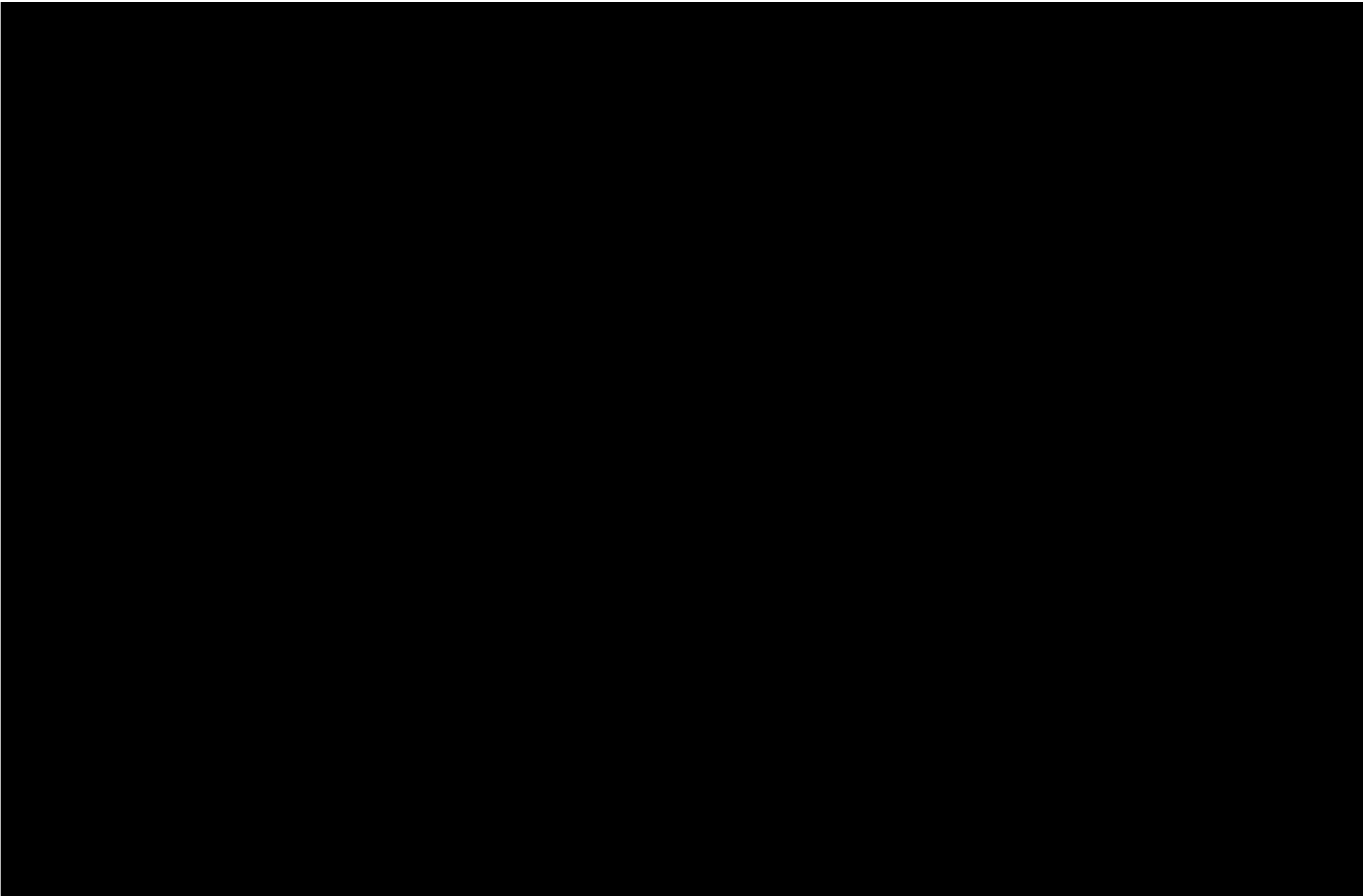
メディカルスタッフ 6 職種 の患者支援における重要な業務を通じて「脳卒中や循環器病」に対する理解を深めていただき、健康意識の向上を図ることを目的に制作しています
また、それぞれの職種の教育研修の一助となることを願っています

2024 年度制作 教育動画 QR コード

メディカルスタッフ 6 職種

- ①薬剤師 ②臨床工学技士
- ③管理栄養士 ④看護師
- ⑤リハビリセラピスト
- ⑥救急救命士





4. その他の活動

(イ) 【普及啓発】毛呂山町 健幸ウォーキング (会場開催)

埼玉新聞

(第3種郵便物認可)

歩いて伸ばす健康寿命

毛呂山町と埼玉医大 ウォーキング事業に60人

毛呂山町が埼玉医科大学(本部・同町)と連携して取り組む事業「歩こうよ!もろやま健幸ウォーキング」が1日、日高市山根の同医大国際医療センターで始まった。参加者は1日平均8千歩を目標に、ウォーキングによる6カ月間の健康づくりを実践する。

(中嶋基人)

健幸ウォーキングは生活習慣すこしを目的に、町が同医大慣病を予防し健康寿命を伸ばすに委託し2023年度から実施している。本年度は40〜80代の男女の町民60人参加。平均年齢は67・22歳で、60〜70代が7割近くを占める。

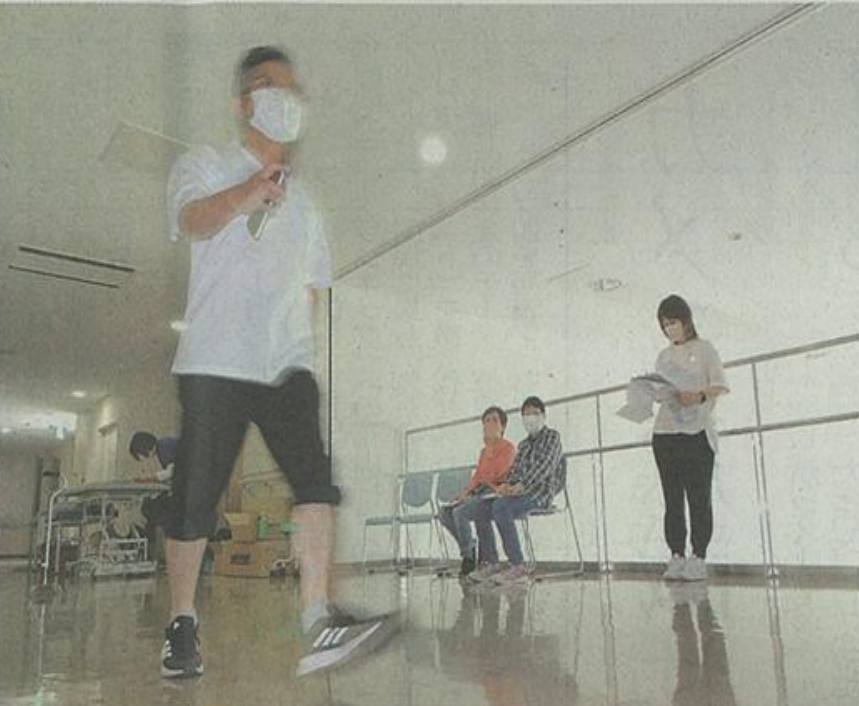
1日は参加者のうち30人が、同センターリハビリテーション科の高橋秀寿教授や理学療法士らの指導の下、片道30分の距離を6分間歩いて往復し距離を測ったり、バランス能力や敏捷性を把握するテストを受けた。採血も行われた。

同町の柏谷明美さん(60)は「自分のことを知ろうというタイミングで参加した」と説明。「運動不足なので、目標を持てるのが自分の健康にもつながると思う」と語る。笠倉アサ子さん(78)は普段から歩くことに親しんでいる。健幸ウォーキングについて「コレステロール値などを低くして筋力や栄養を付けた」と話す。

8日には別の30人が、同様に体力測定などを受ける。参加者は今後、アプリを利用して自主的にウォーキングに取り組み。ウォーキングの前と後の効果を確認するため、今年12月に再び体力測定や血液検査を実施。26年1月には医師から、結果説明と健康づくりのアドバイスを受ける予定だ。

町によると24年度の参加者(57人)の1日平均歩数は、参加当初に比べ1037歩増加。6カ月間の歩数の平均は8166歩だった。中性脂肪の減少や善玉コレステロール(HDL)値の増加傾向が認められたほか、認知機能の改善などもみられたという。

毛呂山町は町民が健康で幸せに暮らせることを目指し、理念を共有するため23年3月に「健幸づくりのまち宣言」を行った。



歩行テストを受ける「健幸ウォーキング」の参加者
1日、日高市山根の埼玉医大国際医療センター

毛呂山町委託事業

「歩こうよ!もろやま健幸ウォーキング」

生活習慣病を予防し、健康寿命を伸ばす

2025.6.5
埼玉新聞より

4. その他の活動

(ウ) 【地域連携】 連携病院紹介ビデオの制作



【YouTubeへ限定公開中】

このビデオは、埼玉医科大学国際医療センターから転院する患者さん向けに、転院先の病院が一定の規則をもって自院の紹介をするもの
病棟で退院支援を行う際、患者さんにご覧いただき、参考にしていただいている

制作先 全9病院

- ①旭ヶ丘病院 ②霞ヶ関南病院
- ③坂戸中央病院④狭山厚生病院
- ⑤飯能誠和病院
- ⑥丸木記念福祉メディカルセンター
- ⑦武蔵台病院 ⑧武蔵嵐山病院 ⑨若葉病院



4. その他の活動

(エ) 【地域連携】 脳卒中地域連携パス（電子化）



【導入を決定】

埼玉県医師会のリーダーシップの下、PSCコア施設として導入を決定
令和7年度継続案件



4. その他の活動

(オ) 【地域連携】 両立支援調査2024（脳卒中）

調査の位置づけ・各事務局の役割

KEY: 両立支援調査2024は、2024年度下半期に実施される9県参加共同調査です

	両立支援調査 2023	両立支援調査 2024	就労支援リハ調査
対象府県	7府県 岩手・宮城・栃木・富山・京都・福岡・熊本	9県 埼玉・長野・石川・奈良・鳥取・広島・愛媛・佐賀・長崎	11府県 岩手・宮城・栃木・茨城・富山・三重・京都・香川・徳島・福岡・熊本
実施期間（症例エントリー）	2023.10～2024.3	2024.10～2025.3	2024.10～2025.3
実施期間（フォローアップ）	2024.4～2025.9	2025.4～2026.9	—
調査対象者	※1	※2	※3
調査実施主担当職種	MSW	MSW	PT・OT・ST
利用システム	HELP-Stroke	HELP-Stroke ver.2	構築中
その他		初回MTG: 4/23, 5/1	初回MTG: 7/2

▶ 先行する調査2023 のスキーム等を活用します

調査概要

どのくらいの患者が
対象になるのでしょうか？
(調査負担は・・・)



- ▶ 15-69歳の脳卒中患者
- ▶ 自院から直接自宅に退院した
- ▶ 発症前に就労していた

これらの条件をすべて満たす患者さんが対象です
先行する両立支援調査2023 のデータ：
(参画機関7府県176施設平均値)

参加機関平均： **12** 症例 / 機関

- * 急性期平均： 15 症例 / 機関
- * 回復期平均： 10 症例 / 機関

京大病院では、脳卒中患者全体の約1割が調査対象でした

調査内容

調査対象府県のPSCおよび回復期リハビリテーション病院から直接自宅退院した脳卒中患者の復職率および両立支援の実施状況を調査

期待される効果

悉皆性のあるデータに基づいた下記2点の把握

- ①脳卒中後の復職率
- ②「療養・就労両立支援料」の実現
(算定状況や算定困難な理由の把握)

その他の効果

「脳卒中相談窓口連携会議」の実現

【参考】 埼玉県の参加医療機関

PSC：30施設（67%）、回復期リハ：23施設（43%）

令和7年度脳卒中・心臓病等総合支援センター事業 計画（案）報告

A) 医療機関連携の考え方

かかりつけ医や訪問看護ステーションといった地域の医療職と専門医の連携を図る。

脳卒中・心臓病等総合支援センターを

「地域の医療職のバックアップとしての専門的な相談窓口」 としてご利用いただく。

B) 介護施設連携の考え方

脳卒中・心臓病等総合支援センターを

「あなたの相談サポーター・・・迷った時の相談先の1つ」 としてご利用いただく。

- ・介護スタッフが、かかりつけ医や専門医につなぐことができる体制
- ・介護スタッフが、救急車を呼ぶべき場面で躊躇せずに救急車を呼べる体制

I. 医療機関連携・介護施設連携の事業展開（共通事項）

相談事業の周知（脳卒中相談窓口、心臓病相談窓口の活用）

II. 医療機関連携の事業展開

医療機関どうしの顔の見える連携、専門医の周知

III. 介護施設連携の事業展開

介護職は「変化に気づく専門家」「医療との橋渡し役」

IV. その他の医療機関連携・介護施設連携の事業展開

I. 医療機関連携・介護施設連携の事業展開（共通事項）

相談事業の周知（脳卒中相談窓口、心臓病相談窓口の活用）

① 患者・家族、医療機関、介護施設等からの相談支援窓口【相談窓口】

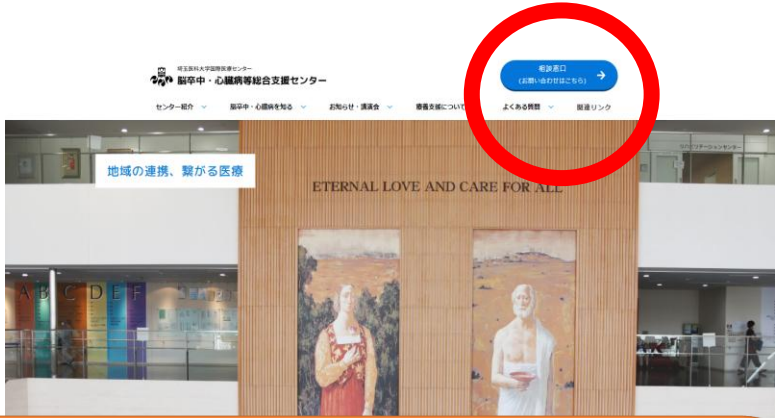
- 国際医療センターに通院していない県民も含め、患者・家族、医療機関、介護施設等からの相談に、より広く対応して参ります。
- 便利なWEB相談をお勧めしています

□ 医療機関連携

「地域の医療職のバックアップとしての専門的な相談窓口」としてご利用ください

□ 介護施設連携

「あなたの相談サポーター・・・迷った時の相談先の1つ」としてご利用ください



Googleフォームへ相談事項を記載し送信→登録したメールアドレスに回答を送信

※相談内容によって当院の医師や看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士などが回答します。



a. （共通事項）医療従事者の例：訪問看護師

1. 「いつもと違う」に気づいたら、「救急対応」

- ① 症状・治療方針、処方に関する確認などの日々の業務、また緊急時については、**主治医**や施設内の上司・同僚看護師に相談。
- ② 脳卒中（脳梗塞・脳出血など）の見逃しやすい初期サインがあった際、至急、**主治医**へ報告し、緊急対応。発症からの時間が勝負、迷わず救急車を呼ぶ。
- ③ 心筋梗塞・狭心症などの注意すべき症状を発見した際、安静にし、至急、**主治医**へ報告し、救急へつなぐ。

2. 「緊急時以外において」、自己確認の観点から「**地域の医療職のバックアップとしての専門的な相談窓口**」として「埼玉県脳卒中・心臓病等総合支援センター」を活用していただく。**勉強会への協力も可能。**

a. （共通事項）医療従事者の例：訪問看護師

3. 相談事例

① 再発予防・健康管理に関する指導

- ・ 再発予防のための生活指導（食事・服薬・運動）の具体例
- ・ 心不全・高血圧・不整脈（例：心房細動）管理のポイント
- ・ 患者の病識が低い／自己管理が困難な場合の支援法

② 在宅療養の継続支援

- ・ 脳卒中・心疾患の後遺症を持つ利用者へのケアの工夫
- ・ 高齢患者や重度障害のある方へのケアの工夫
- ・ 心臓リハビリテーション
- ・ 心臓病患者の緩和ケア、ACP
- ・ 脳卒中とがん、心臓病とがんを併発する方への在宅療養支援について

※ ご参考：埼玉医科大学国際医療センターの年間外来実患者約125,000人の内、がんと循環器病を併発する患者

➡ 0.8%（約1,000人）

・ がんと脳卒中（260人）、がんと心臓病（610人）、脳卒中と心臓病（120人）

b. （共通事項）介護従事者の例：**通所系（デイサービス）、訪問系（在宅支援）**

1. 「いつもと違う」に気づいたら、すぐに「報告」

- ① 日々の業務については、上司へ相談。少しでも「いつもと違う」と感じたら、**看護師**や医師へ速やかに報告。
- ② 脳卒中（脳梗塞・脳出血など）の見逃しやすい初期サインがあった際、至急、**看護師**や主治医へ報告し、緊急対応。発症からの時間が勝負、迷わず救急車を呼ぶ。
- ③ 心筋梗塞・狭心症などの注意すべき症状を発見した際、安静にし、至急、**看護師**や主治医へ報告し、救急へつなぐ。

2. 「**緊急時以外において**」、医療的な知識が求められる場面や本人・家族の生活支援などについて、**「あなたの相談サポーター・・・迷った時の相談先の1つ」**として「埼玉県脳卒中・心臓病等総合支援センター」を活用していただく。

b. （共通事項）介護従事者の例：通所系（デイサービス）、訪問系（在宅支援）

3. 相談事例（共に働く**看護師**へ相談することが大切）

① 脳卒中・心臓病のある利用者のケア方法について

- 脳卒中後の後遺症（片麻痺・嚥下障害など）への対応方法
- 心不全や高血圧など、心疾患持ちの利用者への日常ケアのポイント
- バイタルサインや症状の変化をどう見極めるか

② 体調変化時・救急時の対応（**看護師**や医師へ速やかに報告、事前学習として）

- FAST※など脳卒中の兆候が見られたときの対応方法
(Face：顔のゆがみ、Arms：腕の脱力、Speech：言語障害、Time：いち早く救急車を呼ぶ)
- 呼吸困難や胸痛など、心疾患の兆候が見られたときの対応方法
- 利用者や再発リスクを抱えている場合の留意点

③ 在宅生活の支援・リハビリとの連携

- リハビリの継続が必要な方に対して、介護現場でできる支援内容

II. 医療機関連携の事業展開

医療機関どうしの顔の見える連携、専門医の周知

① 脳卒中・心臓病等総合支援センターが開催するセミナー等の活用【普及啓発】【人材育成】 ※一度ご受講いただき、どんな内容かをご確認ください

- 市民公開講座
- 県民向け公開講座【埼玉県と共催】
- 地域医療連携懇話会
- かわせみカンファレンス
- 脳卒中病院前救護セミナー（PSLS：Prehospital Stroke Life Support）、● ISLC
- 比企地域の地域医療連携勉強会【埼玉県と共催】

② 埼玉医科大学国際医療センターから、郡市医師会や在宅医療連携拠点で開催する勉強会等への講師の派遣【地域連携】

- 脳卒中とがん、心臓病とがんを合併する方への在宅療養支援
- 在宅での心臓リハビリテーション
- 心臓病患者の緩和ケアやACP
- 成人先天性心疾患（ACHD：Adult Congenital Heart Disease）
- 脳卒中病院前救護 等々

市民公開講座のご紹介

LIVE
対面聴講

脳卒中・心臓病等総合支援センター事業
第35回 埼玉医科大学国際医療センター
市民公開講座

「知れば安心！救急・脳卒中」－いざという時の対応と備え－

日時：**2025年8月23日(土)**
13:00～15:30 (開場12:00、閉場16:00)
場所：埼玉医科大学創立30周年記念講堂ホール
(日高キャンパス) 埼玉県日高市山根 1397-1
YouTubeによるLIVE配信をご希望の方は裏面の申込フォームより予約してください。

開 会 13:00
開会の挨拶 副院長 鈴木 孝明

座 長 救命救急センター長 加地 正人

講 演 13:05～15:30

(1)知れば安心！熱中症 救命救急科 教授 井上 孝隆

(2)知れば安心！救命の連鎖 救命救急科 助教 宮田 秀平

休憩(15分)

(3)知れば安心！脳梗塞 脳血管内治療科 教授 神山 信也

(4)知れば安心！脳出血、くも膜下出血 脳卒中外科 講師 寺西 亮雄

閉 会 15:30
閉会の挨拶 救命救急センター長 加地 正人

8月23日(土) 【YouTube LIVE配信あり】

「知れば安心！救急・脳卒中」

－いざという時の対応と備え－ 参加者535名

4名の医師による講演

熱中症、心肺停止

脳梗塞、脳出血・くも膜下出血

3月21日(土) 【YouTube LIVE配信あり】

脳卒中・心臓病を予定

5月31日(土) がん・泌尿器を実施

1月31日(土) がんを予定 (ウェスタ川越にて)

連絡先：TEL 042-978-7137 (市民公開講座事務局)

県民向け公開講座のご紹介

- 開催日時：2025年12月7日(日) 13時より
- 会 場 ：越谷市中央市民会館
- テーマ ：「冬場の心筋梗塞・脳卒中に要注意！
いま知っておきたい予防の知識」(仮)
- 講 師 ：獨協医科大学埼玉医療センター
越谷市立病院
- 進行他 ：埼玉医科大学国際医療センター

連絡先：TEL 042-984-4128 (総合支援センター事務局)

地域医療連携懇話会（地域の医師・看護師・医療職・介護職他向け）

開催方法：ZOOMによるWEB配信

開催実績と予定

- ① 5月12日(月) 19時 心不全の薬物治療・緩和ケア
- ② 9月24日(水) 19時 がんのロボット手術（仮）
- ③ 12月15日(月) 19時 脳卒中と心臓病（仮）
- ④ 3月16日(月) 19時 がん 脳脊髄腫瘍（仮）

連絡先：TEL 042-984-4433（地域医療連携室）

かわせみカンファレンス（地域の看護師・医療職・介護職他向け）

埼玉医科大学国際医療センター
2025年度 第2回 かわせみ教育カンファレンス



特定行為のあれこれ！
～看護のチカラで患者の未来を変える～

2025年9月12日(金) 18:00～19:30

会場

埼玉医科大学国際医療センター
教育研究棟2階大講堂 & Web開催（ハイブリッド形式）

講師

平成博愛会 世田谷記念病院
副看護部長 杉本 大介 先生
「看護師特定行為の概要」「病院での特定看護師の活動」

てとめ訪問看護ステーション江戸川
看護師 池田 茅花 先生
「在宅での特定看護師の活動」

申込みQRコード



申込

<URL> <https://ssl.formman.com/t/uWIS/>
<締め切り> 9月11日(木) 9時まで

1. 開催方法：現地と ZOOM による Web 開催の併用
2. 開催日時：第1回 2025年 6月13日(金) 18:00～19:30
第2回 2025年 9月12日(金) 18:00～19:30
第3回 2025年 11月14日(金) 18:00～19:30
第4回 2026年 2月13日(金) 18:00～19:30

3. 教育プログラム

	日時	講演テーマ
第1回	2025年 6月13日	在宅療養中の高齢者を対象とした褥瘡予防につながる 栄養管理と排便管理
第2回	2025年 9月12日	特定行為のあれこれ！ ～看護のチカラで患者の未来を変える～
第3回	2025年 11月14日	あなたは大切な人と人生会議 (アドバンス・ケア・プランニング) していますか？ ～各領域の実践者と共に考えよう
第4回	2026年 2月13日	新人教育に関する講演（予定）

「かわせみ教育カンファ」
申込 QR コード



脳卒中病院前救護セミナー（PSLS）（地域の救急隊・医療職・介護職他向け） （Prehospital Stroke Life Support）

日本臨床救急医学会認定 第28回
PSLSコース

◎ PSLSって？
Prehospital Stroke Life Support = 脳卒中病院前救護を省略してPSLSとなっています。
脳卒中が疑われる傷病者に対する、病院前救護の現場での標準的な観察・処置の手法を行うべく
開発された研修コースとなります。

国際さん
こんにちは～！
調子はいかがですか？

国際 太郎さん
こんにちは～……
実はさっきから
腕が上がりにくいんだ

PSLSコースを受講していた場合

10秒間
両腕を
挙げて

イーってして
歯を見せて

左麻痺と
構音障害……
脳卒中かも
しれない！
119だ！

これは何？

腕あがらん

えがね
(めがね)

救急車で病院へ！

腕が挙がる
ようになった！

日高さん
ありがとう！

救急隊と一緒に学ぼう！
受講は無料！
お申し込みはQRコードから！

PSLSコースを受講していない場合

血圧は問題ないから、
一旦様子みてみましょう

1日後……
意識が悪くなり搬送

脳卒中だった！

寝たきりになっちゃった……

みんな
申し込んでね

【日 時】2025年 9月 16日(火) 13:00～16:30
【場 所】埼玉医科大学国際医療センター
教育研究棟 5階 タスクトレーニング室

【問い合わせ先】
埼玉医科大学国際医療センター
救急救急科 橋山(5562)
Mail: en9761@5931.saitama-med.ac.jp
Tel: 042-978-7123

開催方法：国際医療センターでの現地開催
開催実績と予定

- ① 6月17日(月) 13時
 - ② 9月16日(火) 13時
 - ③ 12月16日(火) 13時
 - ④ 3月17日(火) 13時
- (定員36名・無料)



連絡先：TEL 042-978-7123（教育支援センター）

神経救急蘇生（ISLS）（**医療職**向け） （Immediate Stroke Life Support）

PSLSが「病院前のトレーニング」に対し、ISLSは「病院内での脳卒中の初期診療に必要な知識と技能を学ぶための医療研修プログラム」です。

PSLSとISLSの双方を経験することにより、脳卒中の救急医療において、病院前と病院到着後の「一連の診療プロセス」を習得します。

開催方法：

国際医療センターでの現地開催
開催実績と予定：

- ① 8月9日(土) 8時30分
- ② 2月頃の予定
（定員14名・無料）

連絡先：TEL 042-978-7123

（教育支援センター）

比企地域の地域医療連携勉強会（地域の看護師・医療職他向け）

開催方法： ZOOMによるWEB配信

現在、企画中

日程、テーマ等決まり次第、お知らせします

連絡先：TEL 042-984-4128（総合支援センター事務局）

III. 介護施設連携の事業展開

介護職は「変化に気づく専門家」「医療との橋渡し役」

① 介護職向け勉強会の開催（医療職から介護職へのメッセージ）【人材育成】

【埼玉県と共催】（企画中）

- 介護職は医療的判断は求められないが、医療的知識や情報は必要
- 利用者の心身の微細な変化を見逃さずにキャッチし、次の行動につなげられる
- 次の行動とは、看護師や医師へ速やかに報告すること
- 次の行動とは、救急車を呼ぶべき場面で躊躇せずに救急車を呼べること
- 「医療との橋渡し役」として「介護職の教育」は重要
- 昨年度のテーマは「循環器疾患に関する基礎知識」
循環器疾患について、いつもと違う変化や体調不良に気づき、受診を促せる知識を共有
- 今年度は、介護職向けに「勉強会のテーマ」についてアンケートを実施済み
- 「介護職だけでは判断が難しい」というグレーゾーンを埋める基礎知識を共有する予定

② 埼玉医科大学国際医療センターから、郡市医師会や在宅医療連携拠点で開催する勉強会等への講師の派遣【地域連携】

IV. その他の医療機関連携・介護施設連携の事業展開

- ① 脳卒中地域連携パス（電子化）
- ② 心不全地域連携パスのコンテンツ作成
- ③ 脳卒中両立支援調査2024
- ④ 心臓リハビリテーションの推進

- ◆ 飯能地区薬剤師勉強会
- ◆ 全県薬剤師向け勉強会
- ◆ 大動脈緊急症治療ネットワーク（SAN）勉強会
- ◆ 毛呂山町 健幸ウォーキング

脳卒中地域連携パス（電子化）

- 埼玉県医師会の全面的なご協力の下、運営開始
- 対 象 ： 県内のPSCコア、PSC
- 運 営 ： 現在申し込み済みのPSCコア 3 施設のスムーズな運営
問題点の抽出によるブラッシュアップが必要
- 展 開 ： 県内PSC43施設向けに総合支援センターから利用を促進する
WEB会議を開催する構想あり

心不全地域連携パスのコンテンツ作成

- 対 象 : 重症心不全患者
- 目 標 : 半年以内の再入院を防ぐ
- 方 法 : 各職種で使用する退院サマリーをもとに転院先の病院、介護施設のニーズ調査を行う

心臓リハビリテーションの推進

- 心臓リハビリテーションについて、地域の現状把握と今後の推進を鑑み、回復期リハビリテーション病院、その他地域病院のリハビリテーション・セラピストと症例検討を中心とした勉強会を開始。
今後の展開を模索中。

1. 相談事業の周知にご協力ください

- 患者・家族、医療機関、介護施設等からの相談に、より広く対応して参ります。
脳卒中相談窓口、心臓病相談窓口のご案内、ご活用をお願い致します。

2. 脳卒中・心臓病等総合支援センターが開催するセミナー等をご活用ください

- セミナー等をご活用いただき、意見交換を行いながら、**医療機関どうしの顔の見える連携、専門医の周知**を図って参りたいと思います。

3. 各種セミナー等の開催案内にご協力ください

- 埼玉県医師会から皆様のメールアドレスをご提供いただき、情報発信をさせていただきますたく存じます。

4. 研修会を開催する場合の講師や助言者の派遣についてもお相談ください

- そのためにも、まず、各種セミナーをご活用ください。

5. ニーズ調査・アンケートにご協力ください

- 心不全地域連携パスのコンテンツの作成等、皆様のご意見をいただきますたく存じます。

問い合わせ先

脳卒中・心臓病等総合支援センター事業事務局
埼玉医科大学国際医療センター
事務部総務課 福島・杉川
電話：042-984-4128 FAX：042-984-0432
E-mail：imc_soso@saitama-med.ac.jp

埼玉県保健医療部疾病対策課
総務・疾病対策担当 川角
電話：048-830-3598
E-mail：a3590-05@pref.saitama.lg.jp

ご清聴ありがとうございました。

埼玉県郡市医師会の皆さま、在宅医療連携拠点皆さまの
ご支援が不可欠です。

今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。